

2011年3月11日の大震災と福島原発事故は、原子力技術が、私たち人間の手に負えないものであることをはっきりと示しました。

福島県では、目に見えない放射能汚染によって、移住による生活の変化や家族の分断、汚染のリスクと隣り合わせの生活など、目に見えない放射能による被害が今も続いています。この事故を経験した日本が、これからどんな未来を選ぶのか——私たちひとりひとりに問われています。

26年前のチェルノブイリ原発事故の影響を受けたドイツにも、福島の事故は大きな衝撃を与えました。「福島は警告する」のスローガンの元に各地で多くの市民が集いました。2010年にメルケル政権で原発延命の議論も出ていたものの、市民の力がこれを覆し、2022年までの脱原発を改めて決定しました。ドイツの市民社会の中でも、福島の支援・福島の経験の共有は、大きなテーマです。

このたび、ドイツ最大の環境団体の一つ「FoEドイツ」に設立当初から参加し、一人として、また市民活動家として、放射能や原子力問題に関わってきたフーベルト・ヴァイガー氏が来日します。311後の私たちの選択について、話し合しましょう。

2012

3.12 (月) 18:30-20:30

福岡国際会議場 5F 国際会議室

福岡市博多区石城町2-1 TEL.092-262-4111
<http://www.marinemesse.or.jp/congress/access/>

参加費 **500円**

プログラム

● **事故から1年、福島の現状—3・11後の避難政策と人々の生活**

みつた かなな (国際環境NGO FoE Japan)
満田 夏花

● **チェルノブイリ後、3・11後のドイツ市民—日本・福島への連帯**

フーベルト・ヴァイガー (FoEドイツ代表)



フーベルト・ヴァイガー氏

● **長崎の経験と原子力の「平和利用」**

じょうたい みやこ (長崎市在住)
城臺 美彌子

● **地元の運動から**

いしまる はつみ (玄海原発プルサーマル裁判の会)
石丸 初美

● **会場からの質問を交えてディスカッション**

DEUTSCHLAND

JAPAN

申込

FoE Japan・共催団体ウェブサイトよりお申込ください。
または、下記問合せ先までご連絡ください。(要申込)

問合せ

〈東京〉国際環境NGO FoE Japan
Tel : 03-6907-7217 Fax : 03-6907-7219
080-5173-0136 (吉田)
e-mail : finance@foejapan.org (吉田、渡辺)
<http://www.foejapan.org/>

〈福岡〉みらい実行委員会
090-6426-0901 (本河)

〈佐賀〉玄海原発プルサーマル裁判の会
Tel : 0952-37-9212 Fax : 0952-37-9213
070-5401-7032 (小林)
e-mail : saiban.jimukyoku@gmail.com
<http://saga-genkai.jimdo.com/>

【主催】FoE Japan、フリードリヒ・エーベルト財団

【共催】玄海原発プルサーマル裁判の会、福岡県地方自治研究所、みどり福岡、みらい実行委員会、未来ネット佐賀ん会

【協力】(特活)再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本、(特活)たんぼぼとりで、Fight for Your Life、福岡自由学校、(特活)NGO福岡ネットワーク(FUNN)

(50音順)



みらい実行委員会 福岡県地方自治研究所



環境政党 Greens fukuoka 玄海原発プルサーマル裁判の会 未来ネット佐賀ん会

日本とドイツ 原発事故から何を学ぶか

——地域住民の連帯に向けて



フーベルト・ヴァイガー氏

登壇者プロフィール

●フーベルト・ヴァイガー (FoE ドイツ代表)

FoE ドイツ代表、ミュンヘン大学教授。1975 年より FoE ドイツに参加、農業問題研究会メンバー等をつとめる。2007 年より代表。ドイツ各地の脱原発デモで発言し、2011 年 9 月には日本でも「さようなら原発 5 万人集会」(明治公園)で発言。

●満田 夏花(みつた かな)

国際環境 NGO FoE Japan 理事。メコン・ウォッチ、政策担当。一橋大学非常勤講師。地球・人間環境フォーラムにおいて「開発途上国における企業の社会的責任」、「国際金融機関の環境社会配慮」などの分野での調査・政策提言活動を行ってきた。2009 年 7 月から現職。3.11 後、原発・エネルギー担当として、福島の問題に取り組む。

●城臺 美弥子(じょうだい みやこ)

長崎市生まれ。1945 年 8 月 9 日、6 歳の時に爆心地より 2.4km にて被爆。長崎大学卒業後長崎市立小学校教員になり、平和教育に出会い取り組む。1998 年 1 月 8 日、長男の第二子として生まれた孫が生後 6 ヶ月で突然死。幼い孫が教えてくれた命の重みを伝えようと、長崎の証言の会である長崎平和推進教会に入会。以後、被爆体験講話および被爆遺構案内などを続け、現在に至る。

●石丸 初美(いしまる はつみ)

玄海原発プルサーマル裁判の会代表。2006 年、佐賀県民の了解を得ずに計画された九州電力玄海原子力発電所でのプルサーマル発電の危険性について電力会社や佐賀県に対し説明を求めた。しかし、納得のいく回答やデータ開示のないまま 2009 年営業運転が開始されたことに対し、2010 年、安心できる暮らしと未来の人達のために裁判を選択した。

主催団体紹介

●国際環境 NGO FoE Japan

世界 77 ヶ国に約 200 万人のサポーターを有する世界最大の環境 NGO ネットワーク Friends of the Earth の日本メンバーとして 1980 年より活動。開発金融、気候変動、森林、廃棄物などのテーマに加え、3.11 の震災以降、原発・エネルギー問題に注力。福島や全国の市民団体と連携して、原発事故被害の最小化や原発輸出問題、エネルギー政策転換に取り組む。

●フリードリヒ・エーベルト財団(FES)

非営利のドイツの政治財団で教育・研究・国際協力を通じて社会民主主義の基本的価値の精神の下に公共政策に関する課題に取り組む。ドイツ国内における政治教育は勿論、全世界 100 カ国以上で活動。東京事務所では、政治・市民社会における日独対話を促進し、学術交流を支援している。

●FoE ドイツ(BUND)

国際的な環境団体のネットワーク Friends of the Earth (FoE) のドイツメンバー。約 48 万人の会員とドイツ各地のローカルネットワークを持つ。原子力問題は発足以来大きなテーマのひとつであり、現在、福島もウェブサイト等で知らせ支援を呼びかけている。

開催のお知らせ
in 福岡

避難の権利集会

東京電力福島第一原発事故から 1 年。
いまだに第一原発からは放射能が漏れ出し、被ばく影響について過小評価されている上に、除染のめどがなかなか立っていません。こうした中、政府は、避難区域の縮小・解除に向けて動いています。福島市の避難問題の最前線、渡利地区ではいまだ何が生じているのでしょうか？福島の子もたちを守るために、私たち一人ひとりは何ができるのでしょうか？
ご関心のある方は、どなたでもご参加ください。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。

日時 2012 年 3 月 13 日(火) 18:30~20:30

場所 九州大学医学部百年講堂 中ホール3
(福岡市東区 最寄:地下鉄箱崎線 馬出九大病院前)

スピーカー 満田 夏花 (国際環境 NGO FoE Japan)
宇野 朗子 (ヒロアクション福島原発40年実行委員長、
福島市から避難)

参加費 500 円

主催:国際環境 NGO FoE Japan, FNA(エフナ・アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム)
問合せ: 03-6907-7217 (FoE Japan) ※申込不要

福岡国際会議場への交通アクセス



【天神より】
ソリアステージ前 西鉄バス停 2A のりば
中央ふ頭行き (80 番) 国際会議場・サンパレス前下車
【博多駅より】
博多駅センタービル前 西鉄バス停 E のりば (福銀前)
中央ふ頭行き (88 番) 国際会議場・サンパレス前下車
博多ふ頭行き (99 番) 国際センター・サンパレス前下車